

学校コード F140310112006

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

注2

令和健康科学大学

(必要がある場合) ○○専攻

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人巨樹の会  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名

職名・氏名

シムキョクチョウマツオカ ヤスヒロ  
事務局長 松岡 泰裕

電話番号

092-607-6714

(夜間)

092-607-6714

e-mail

y.matsuoka@kyoju.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	34

## リハビリテーション学部

<理学療法学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	38
2. 授業科目の概要	42
3. 施設・設備の整備状況、経費	49
4. 既設大学等の状況	50
5. 教員組織の状況	51
6. 附帯事項等に対する履行状況等	72
7. その他全般的事項	73

## リハビリテーション学部

<作業療法学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	77
2. 授業科目の概要	81
3. 施設・設備の整備状況、経費	88
4. 既設大学等の状況	89
5. 教員組織の状況	90
6. 附帯事項等に対する履行状況等	109
7. その他全般的事項	110

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人巨樹の会

## (2) 大学名

令和健康科学大学 看護学部 看護学科

## (3) 調査対象大学等の位置

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジイ シゲル) 藤井 茂 (平成31年4月)		
学長	(ニシムラ ヤスハル) 西村 泰治 (令和4年4月)		
学部長	(ノジ アリコ) 野地 有子 (令和4年4月)		
学科長等	(ミヤサト クニコ) 宮里 邦子 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履状状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	医学関係 保健衛生学関係（看護学関係） 保健衛生学関係（看護学関係）	4 年	80 人	0 人	320 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	80人	1.22 倍	— 倍
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	180		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	171		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	129		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	98		
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		1.22		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ( ) )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	98 [—] (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	98 [ — ] ( — )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和4年度	98人	0人	令和4年度	0人	—人	
合計		0人		0人	—人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{98} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュャーズセミナー	1前	1			1						兼3
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1				1					兼2
	健康科学入門	1前	1									兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1
	英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1
韓国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼2	
韓国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1									兼1	
スポーツ実践	1後		1								兼1	
小計(29科目)		-	16	13	-	2	0	0	0	0	0	兼23
専門基礎分野	人体構造学	1前	2									兼1
	人体機能学	1後	2			1						
	栄養代謝学	1後	1									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)	2前	2									兼2
	健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)	2後	1									兼1
	健康障害と治療Ⅴ(小児)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅵ(精神)	2前	1									兼1
	放射線医学	2後	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	感染症看護	2前		1								兼1
	食事療法学	2前		1								兼1
	薬理学	1後	2									兼1
リハビリテーション概論	1後	1			1							
健康科学医療論	2前	1				2					兼2	
看護統計学	2前	1									兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュャーズセミナー	1前	1			1						兼1
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1					1				兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1
	英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1
韓国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼2	
韓国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1									兼1	
スポーツ実践	1後		1								兼1	
小計(29科目)		-	16	13	-	2	0	0	0	0	0	兼23
専門基礎分野	人体構造学	1前	2									兼1
	人体機能学	1後	2			1						
	栄養代謝学	1後	1									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)	2前	2									兼2
	健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)	2後	1									兼1
	健康障害と治療Ⅴ(小児)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅵ(精神)	2前	1									兼1
	放射線医学	2後	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	感染症看護	2前		1								兼1
	食事療法学	2前		1								兼1
	薬理学	1後	2									兼1
リハビリテーション概論	1後	1			1							
健康科学医療論	2前	1				2					兼2	
看護統計学	2前	1									兼1	

社会福祉学	3前	2								兼1
保健医療福祉制度論	3前	2								兼1
家族看護論	1後	1								兼1
公衆衛生学	3前	2								兼1
看護関係法規	2後	1								兼1
カウンセリング論	2前	1								兼1
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1		2	2					兼5
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1		3	3	2				兼10
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)	3前	1		6	4	7	1			兼18
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1		6	4	7	1			兼18
小計(28科目)	-	29	7	0	9	4	7	1	0	兼49

社会福祉学	3前	2								兼1
保健医療福祉制度論	3前	2								兼1
家族看護論	1後	1								兼1
公衆衛生学	3前	2								兼1
看護関係法規	2後	1								兼1
カウンセリング論	2前	1								兼1
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1		2	2					兼5
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1		3	3	2				兼10
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)	3前	1		6	4	7	1			兼18
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1		6	4	7	1			兼18
小計(28科目)	-	29	7	0	9	4	7	1	0	兼49

看護学概論	1前	2			1					
看護倫理	2前	1			1					
看護実践論	1後	1			1					
看護過程	2前	1			1	1	2		1	
生活援助技術	1前	2			1	1	2		1	
ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	2		1	
診療に伴う援助技術	2前	2			1	1	2		1	
看護研究	2後	1			1					
生活援助実習	1後	1			1	1	2		6	
基礎看護過程実習	2後	2			2	4	4	2	8	
地域看護学概論	2前	2			1					
地域看護学援助論	2後	1			1			1		
地域看護学演習	3前	1			1			1		
地域看護学実習	3後	1			1			1		
在宅看護学概論	2前	1			1					
在宅看護学援助論	2後	1			1				2	
在宅看護学演習	3前	1			1				2	
在宅看護学実習	3後	2			1				2	
成人看護学概論	2前	1			1					
成人看護学慢性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3	
成人看護学慢性期演習	3前	1			2	2	2	1	3	
成人看護学急性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3	
成人看護学急性期演習	3前	1			2	2	2	1	3	
終末期看護論	3前	1			1					
成人看護学慢性期実習	3後	3			1	2	1	1	3	
成人看護学急性期実習	4前	3			1	1	1	1	9	
成人看護学終末期実習	4前	1			1	1			3	
がん看護学	3前	1								兼1
老年看護学概論	2前	1			1					
老年看護学援助論	2後	1			1	1	1	1	1	
老年看護学演習	3前	1			1			1	1	
認知症看護論	3前	1			1					
老年看護学実習	3後	1			1		1	1	1	
認知症老年看護学実習	3後	1					1	1	2	
小児看護学概論	2前	2			1					
小児看護学援助論	2後	1			1			1	2	
小児看護学演習	3前	1			1			1	2	
小児看護学実習	3後	2			1			1	2	
母性看護学概論	2前	2			1	1				
母性看護学援助論	2後	1			1	1			2	
母性看護学演習	3前	1			1	1			2	
母性看護学実習	4前	2			1	1			2	
精神看護学概論	2前	2			1		1			
精神看護学援助論	2後	1			1		2		1	
精神看護学演習	3前	1			1		2		1	
精神看護学実習	3後	2			1		2		1	

看護学概論	1前	2			1					
看護倫理	2前	1			1					
看護実践論	1後	1			1					
看護過程	2前	1			1	1	2		1	
生活援助技術	1前	2			1	1	2		1	
ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	2		1	
診療に伴う援助技術	2前	2			1	1	2		1	
看護研究	2後	1			1					
生活援助実習	1後	1			1	1	2		6	
基礎看護過程実習	2後	2			2	4	4	2	8	
地域看護学概論	2前	2			1					
地域看護学援助論	2後	1			1			1		
地域看護学演習	3前	1			1			1		
地域看護学実習	3後	1			1			1		
在宅看護学概論	2前	1			1					
在宅看護学援助論	2後	1			1				2	
在宅看護学演習	3前	1			1				2	
在宅看護学実習	3後	2			1				2	
成人看護学概論	2前	1			1					
成人看護学慢性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3	
成人看護学慢性期演習	3前	1			2	2	2	1	3	
成人看護学急性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3	
成人看護学急性期演習	3前	1			2	2	2	1	3	
終末期看護論	3前	1			1					
成人看護学慢性期実習	3後	3			1	2	1	1	3	
成人看護学急性期実習	4前	3			1	1	1	1	9	
成人看護学終末期実習	4前	1			1	1			3	
がん看護学	3前	1								兼1
老年看護学概論	2前	1			1					
老年看護学援助論	2後	1			1	1	1	1	1	
老年看護学演習	3前	1			1			1	1	
認知症看護論	3前	1			1					
老年看護学実習	3後	1			1		1	1	1	
認知症老年看護学実習	3後	1					1	1	2	
小児看護学概論	2前	2			1					
小児看護学援助論	2後	1			1			1	2	
小児看護学演習	3前	1			1			1	2	
小児看護学実習	3後	2			1			1	2	
母性看護学概論	2前	2			1	1				
母性看護学援助論	2後	1			1	1			2	
母性看護学演習	3前	1			1	1			2	
母性看護学実習	4前	2			1	1			2	
精神看護学概論	2前	2			1		1			
精神看護学援助論	2後	1			1		2		1	
精神看護学演習	3前	1			1		2		1	
精神看護学実習	3後	2			1		2		1	





(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和4年度】**

医学概論について、専任教員辞退に伴い教授0、兼1に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
94 科目	21 科目	0 科目	115 科目	94 科目 [ 0 ]	21 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	115 科目 [ 0 ]	変更なし

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{115} = \boxed{\phantom{0}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	11,007.03 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,007.03 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	653.38 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	653.38 m <sup>2</sup>		
	小 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		
	合 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	37室	41室	3室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体	
	看護学部						
	リハビリテーション学部		59 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	大学全体	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
	計	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	884.72 m <sup>2</sup>	172 席	35,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,330.18 m <sup>2</sup>	—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	26,485千円	4,938千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	369,948千円	19,303千円	19,402千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,450千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	令和健康科学大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学部											
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.22	1.22	-	令和4	福岡県福岡市東区和白2丁目1番12号	
リハビリテーション学部											
理学療法学科	4	80	0	320	学士(理学療法学)	0.95	0.95	-	令和4	同上	
作業療法学科	4	60	0	240	学士(作業療法学)	0.51	0.51	-	令和4	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士
		健康科学入門※ 健康科学医療論 看護管理学 看護職のキャリア発達とプロ フェッショナルリズム 国際看護学
専	教授 (学部長)	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュアーズセミナー 健康科学医療論 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 小児看護学概論 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究
専	教授	辻 慶子 (66) <令和4年4月> 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 看護学概論 看護倫理 看護実践論 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 看護研究 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャ リアデザイン 統合演習 卒業研究
専	教授	神島 滋子 (54) <令和4年4月> 博士(看護学)
		リハビリテーション概論 成人看護学概論 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士
		健康科学入門※ 健康科学医療論 看護管理学 看護職のキャリア発達とプロ フェッショナルリズム 国際看護学
専	教授 (学部長)	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュアーズセミナー 健康科学医療論 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 小児看護学概論 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究
専	教授	辻 慶子 (66) <令和4年4月> 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 看護学概論 看護倫理 看護実践論 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 看護研究 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャ リアデザイン 統合演習 卒業研究
専	教授	神島 滋子 (54) <令和4年4月> 博士(看護学)
		リハビリテーション概論 成人看護学概論 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	勝野 とわ子 70 <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science (米国)
		専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 老年看護学概論 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 認知症看護論 老年看護学実習 卒業研究
専	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士 (医療経営・管理学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	教授	白石 裕子 (65) <令和5年4月> 博士 (医学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 卒業研究
兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士 (医学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎)
専	教授	田中 裕二 (65) <令和4年4月> 博士 (医学)
		人体機能学 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 卒業研究
専	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士 (学術)
		専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	勝野 とわ子 70 <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science (米国)
		専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 老年看護学概論 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 認知症看護論 老年看護学実習 卒業研究
専	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士 (医療経営・管理学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	教授	白石 裕子 (65) <令和5年4月> 博士 (医学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 卒業研究
兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士 (医学)
		専門職連携教育Ⅰ (専門職連携 の基礎)
専	教授	田中 裕二 (65) <令和4年4月> 博士 (医学)
		人体機能学 専門職連携教育Ⅱ (専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 卒業研究
専	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士 (学術)
		専門職連携教育Ⅲ (専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ (専門職連携 における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)	専	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究
専	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)	専	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学概論 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学概論 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 卒業研究
専	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)	専	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 在宅看護学概論 在宅看護学援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合演習 卒業研究			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 在宅看護学概論 在宅看護学援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	川本 起久子 (61) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)	専	准教授	川本 起久子 (61) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究			基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究
専	准教授	梅木 彰子 (59) <令和5年4月> 修士(人間科学)	専	准教授	梅木 彰子 (59) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究			基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)	専	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)	専	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究
専	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)	専	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	講師	松井 聡子 (42) <令和4年4月> 修士(看護学)	専	講師	松井 聡子 (42) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	大村 由紀美 (47) <令和4年4月> 修士(看護学)	専	講師	大村 由紀美 (47) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	島村 美香 (50) <令和5年4月> 修士(学術)	専	講師	島村 美香 (50) <令和5年4月> 修士(学術)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 成人看護学終末期実習 統合演習 卒業研究			基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 成人看護学終末期実習 統合演習 卒業研究
専	講師	岩倉 真由美 (51) <令和4年4月> 修士(医療経営管理学)	専	講師	岩倉 真由美 (51) <令和4年4月> 修士(医療経営管理学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 卒業研究
専	講師	松本 宗賢 (38) <令和4年4月> 修士(看護学)	専	講師	松本 宗賢 (38) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合演習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	中本 亮 (47) <令和5年4月> 修士(看護学)	専	講師	中本 亮 (47) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究
専	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学)	専	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 統合実習 卒業研究			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	別城 佐和子 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	助教	喜多 麻衣子 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 統合実習 卒業研究
兼任	教授	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
		健康科学医療論
兼任	教授	郡山 一明 (63) <令和4年4月> 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	教授	松原 孝俊 (71) <令和4年4月> 文学修士
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	別城 佐和子 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	助教	喜多 麻衣子 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 統合実習 卒業研究
兼任	教授	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
		健康科学医療論
兼任	教授	
兼任	教授	AC教員審査予定教員
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	教授	松原 孝俊 (71) <令和4年4月> 文学修士
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	弓岡 光徳 (68) <令和4年4月> 博士(社会福祉学)			
		フレッシュアーズセミナー 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			
			兼任	教授(学長)	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
					フレッシュアーズセミナー
					AC教員審査予定教員
					専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	溝田 勝彦 (70) <令和4年4月> 修士(経営学)	兼任	教授	溝田 勝彦 (70) <令和4年4月> 修士(経営学)
		健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)			健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	古後 晴基 (56) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	古後 晴基 <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)	兼任	准教授	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	准教授	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)	兼任	准教授	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿波 邦彦 (40) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	教授	近藤 敏 (72) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	中山 広宣 (71) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (74) <令和4年4月> Master of Science(米国)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	谷川 良博 (53) <令和4年4月> 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	近藤 敏 (72) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	中山 広宣 (71) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (74) <令和4年4月> Master of Science(米国)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	谷川 良博 (53) <令和4年4月> 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	八谷 瑞紀 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	齊藤 貴文 (42) <令和4年4月> 博士(人間環境学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	角田 孝行 (44) <令和4年4月> 修士(保健福祉学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重)
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 修士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	八谷 瑞紀 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	齊藤 貴文 (42) <令和4年4月> 博士(人間環境学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	角田 孝行 (44) <令和4年4月> 修士(保健福祉学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重)
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 修士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	松本 典久 (58) <令和5年4月> 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 典久 (57) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (45) <令和6年4月> 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	太田 研吾 (44) <令和4年4月> 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 カウンセリング論
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) <令和4年4月> 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	松本 典久 <令和5年4月> 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 典久 <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (45) <令和6年4月> 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	太田 研吾 (44) <令和4年4月> 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 カウンセリング論
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) <令和4年4月> 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡 克彦 (61) <令和4年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) <令和5年4月> 修士(経営学)
		経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) <令和4年4月> 博士(農学)
		社会学
兼任	講師	倉田 剛 (51) <令和4年4月> 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (44) <令和4年4月> 博士(国際関係学)
		国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) <令和4年4月> 文学修士
		福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) <令和4年4月> 工学博士
		医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		統計学
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡 克彦 (61) <令和4年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) <令和5年4月> 修士(経営学)
		経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) <令和4年4月> 博士(農学)
		社会学
兼任	講師	倉田 剛 (51) <令和4年4月> 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (44) <令和4年4月> 博士(国際関係学)
		国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) <令和4年4月> 文学修士
		福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) <令和4年4月> 工学博士
		医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		統計学
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒木 昌一 <令和4年4月> (61) 物理学博士
		物理学
兼任	講師	Gregory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話)
兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		人体構造学
兼任	講師	中村 強 (66) <令和4年4月> 博士(農学)
		栄養代謝学
兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		病理学
兼任	講師	北園 孝成 (63) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)
兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)
兼任	講師	中村 雅史 (60) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒木 昌一 <令和4年4月> (61) 物理学博士
		物理学
兼任	講師	Gregory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話)
兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		人体構造学
兼任	講師	中村 強 (66) <令和4年4月> 博士(農学)
		栄養代謝学
兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		病理学
兼任	講師	北園 孝成 (63) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)
兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)
兼任	講師	中村 雅史 (60) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	兼岡 秀俊 (73) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅳ (アレルギー・感覚器・歯・口腔)
兼任	講師	大賀 正一 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅴ (小児)
兼任	講師	堀 輝 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅵ (精神)
兼任	講師	石神 康生 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学
兼任	講師	小川 みどり (66) <令和4年4月> 博士(医学)
		微生物学
兼任	講師	江藤 宏一郎 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)
		感染症看護
兼任	講師	岩本 昌子 (70) <令和5年4月> 博士(農学)
		食事療法学
兼任	講師	豊平 由美子 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	中野 正博 (74) <令和5年4月> 博士(物理学)
		看護統計学
兼任	講師	西崎 緑 (65) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)
		社会福祉学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	兼岡 秀俊 (73) <令和5年4月> 医学博士
		健康障害と治療Ⅳ (アレルギー・感覚器・歯・口腔)
兼任	講師	大賀 正一 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅴ (小児)
兼任	講師	堀 輝 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅵ (精神)
兼任	講師	石神 康生 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学
兼任	講師	小川 みどり (66) <令和4年4月> 博士(医学)
		微生物学
兼任	講師	江藤 宏一郎 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)
		感染症看護
兼任	講師	岩本 昌子 (70) <令和5年4月> 博士(農学)
		食事療法学
兼任	講師	豊平 由美子 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	中野 正博 (74) <令和5年4月> 博士(物理学)
		看護統計学
兼任	講師	西崎 緑 (65) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)
		社会福祉学



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

郡山一明教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年10月から兼任教員採用予定で公募中。  
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、西村泰治教授（兼任）に変更。  
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年4月から兼任教員採用予定。  
阿波邦彦講師（兼任）の担当が難しくなったため、大田瑞穂（兼任）に変更。（助教にて令和4年AC教員審査予定）

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	6	8	3	26	2	7	4	6	1	18	4
(7)	(4)	(6)	(1)	(18)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	6	8	3	26	4	9	8	6	3	26	4
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに**  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	9 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{26} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{18} = \boxed{22.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{2} = \boxed{200} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{26} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。



(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項  設置の趣旨・目的等が生かされ、設置計画が確実に履行されるよう運営組織を組織し、月に1回会議を行い点検改善を行っている。4年制大学にふさわしい教育研究活動が行われるよう、学長は教授会をはじめ各種委員会を通じて教育目標、カリキュラムへの適切な取り組みを図っている。	履行中
認 可 時 (令和3年)	履修モデルを設定し、特色を示すこと自体は問題ないが、履修科目の多くが共通で学ぶ科目となっているため、各履修モデルの違いや特色等が必ずしも明らかではない。学生等に示す際には、各履修モデルの設定趣旨や、その趣旨を踏まえた履修科目の違い等を明確にすることが望ましい。その際には、例えば、救急看護系履修モデルについては中国語科目を対応科目とせず「韓国語Ⅰ」等の科目を対応科目とし、災害看護系履修モデルでは韓国語科目とせず「中国語Ⅰ」等の科目を対応科目とする等、履修モデルの趣旨と対応するか不明確な科目が散見されるため、再度検討の上、必要に応じてより柔軟な科目選択が可能になるように改めることが望ましい。(看護学部看護学科)	助言事項  各履修モデルの違いや特色等を明らかにするため、学生等に示す際には、各履修モデルの設置趣旨や、その趣旨を踏まえた履修科目の違い等を明確にするため履修登録の際に説明を行っている。救急看護系履修モデルについては中国語科目を対応科目とし、災害看護系履修モデルでは韓国語科目を対応科目とする等、履修モデルの趣旨と対応するよう検討を行い柔軟な科目選択が可能となるように検討を行っている。	履行中

<p>認可時 (令和3年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>高度専門職業人を養成することを養成する人材像としており、高い教育水準を有する教員を配置したため初年度は4名、完成年度は9名の教員が定年規程の退職年齢を超えることとなる。これらの教員は定年の特例に関する規程の適用を受け、高い教育研究の水準を維持しつつ教員年齢構成に配慮し、中長期的に視野に立った人事計画のもと教員組織を整備することとしている。</p>	<p>履行中</p>	
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期）</p> <p>選抜方法とし、学力試験および面接試験により判定を行う。</p>	<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期Ⅰ期・Ⅱ期）</p> <p>選抜方法とし、学力試験により判定を行う。</p> <p>令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインに従い、受験機会の確保に努めるべく、後期Ⅱ期試験を設定し追試験に対応出来るようにした。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症罹患患者増加に伴い、当初予定していた面接試験を取りやめ、感染拡大のリスク低減とし、調査書および学力試験により判定を行った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>各学科の教授、准教授および講師のうちから学部長の推薦に基づき学長が指名した者で構成された、令和健康科学大学FD・SD委員会を設置し、取り組むこととしている。実際の教育運営を司る教務委員会と連携し、高度専門職業人を養成するよう、設置の趣旨・目的を踏まえ教育水準の向上に取り組む予定である。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2022年6月より開始予定。毎月第2水曜日実施予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動の啓発に関すること。</li> <li>・ 授業方法についての研究会</li> <li>・ 授業公開の企画・運営に関すること。</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 学生及び職員相互による授業評価に関すること。</li> <li>・ 各学部・各学科が行うFD活動の支援に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る施設・設備等の改善に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る講演会及び研究等に関すること。</li> <li>・ その他FD活動の推進に必要な事項に関すること。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>未実施</p> <p>b 実施方法</p> <p>未実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>未実施</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
未実施
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期  
すべての講義において各講義の最終講義日（前期：8月、後期：1月）にWEBによる授業評価アンケートの実施を
  - b 教員や学生への公開状況、方法等  
FD・SD委員会はアンケート結果を学長に報告を行い、学長はアンケート結果のフィードバックを授業担当教員に行い授業改善に役立ててもらう。学生にはアンケート結果を取り纏めポータルサイトに掲載を行い、履修登録の参考資料としてもらう。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
  - a 委員会の設置状況  
該当なし
  - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）  
該当なし
  - c 委員会の審議事項等  
該当なし
  - d その他  
該当なし
- ② 審議状況  
該当なし
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況  
該当なし
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況  
該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人巨樹の会は「全ての人に対して、24時間・365日、患者のための医療を行う」という創設者の信念に鑑み、「手には技術、頭には知識、患者には愛を」を建学の精神としている。「手には技術」とは「技の修得」を意味し、高度医療の提供と先進医療の導入を図りつつ、安全性・安楽性・信頼性に長け、卓越した技術・技能を修得し、プロフェッショナルとして誇りと責任をもった人を養成するための考えである。「頭には知識」とは「知の探究」を意味する。医療の進歩発展の土台となる探究的思考を身につけ、地域医療の質向上と共に各専門領域の深化を進めるための基礎となる探究心である。「患者には愛を」とは「心の涵養」を意味する。豊かな人間性を有し、経験を深める洞察力と内省力を磨き、職業倫理をもって全ての患者に寄り添い、優しく接することができる「全人的医療」を提供できる人を養成することを目的に設置した。

この目的を達成すべく開学後4月より医療従事者としての素養を身に着けた医療人を養成すべく、基幹分野科目である「コミュニケーション論」「医療と情報リテラシー」「論理的思考法」では対象者を全人的に深く理解し、素直に受け入れ、相互に良好な関係を築くことができる能力を学修している。専門基礎分野科目である「人体構造学」では今後の医療人としての根幹である人体に対する理解が深まるように基礎知識を学修している。専門分野科目である「看護学概論」「生活援助技術」では看護学全体の基本的な知識を学修し、科学的根拠に基づいた看護実践を支える知識体系、健康の保持・増進・QOLを支えるケアについて知識の修得を行っている。設置の趣旨・目的を達成するため、幅広い教養、職業倫理、保健医療に関する基礎知識の修得が進んでいるものと考えている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

記入例)

- ・令和9年6月1日 公表

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和9年6月1日を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人巨樹の会

## (2) 大学名

令和健康科学大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

## (3) 調査対象大学等の位置

〒811-0213  
福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジイ シゲル) 藤井 茂 (現職就任年月)		
学長	(ニシムラ ヤスハル) 西村 泰治 (令和4年4月)		
学部長	(ヤマダ タツオ) 山田 達夫 (令和4年4月)	(イナガワ トシミツ) 稲川 利光 (令和4年4月)	健康上の理由により就任辞退のため変更 令和4年4月1日 (4) 特任教授のため学部長代行
学科長等	(ミゾタ カツヒコ) 溝田 勝彦 (令和4年4月)	(ナガサキ タカユキ) 永崎 孝之 (令和4年4月)	一身上の都合により学科長辞退のため変更 令和4年4月1日 (4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員 年次	收容定員		
リハビリテーション学部 理学療法学科 学士（理学療法学科）	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	4 年	80 人	0 人	320 人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	0.95倍	—倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	96 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	76 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0.95				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してしてください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	76 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )					— [ — ] ( — )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和4年度	76 人	0 人	令和4年度	76 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュャーズセミナー	1前	1			1	1					兼2
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1		1						
	福岡の歴史と文化	1前	1			1						兼1
	健康科学入門	1前	1			2						兼2
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
物理学	1前		1								兼1	
英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1	
英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1	
韓国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1		1						兼1	
韓国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1		1						兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1				1						
スポーツ実践	1後		1			1						
小計(29科目)	-	-	16	13	0	3	2	0	0	0	0	兼20
専門基礎	解剖学Ⅰ(筋骨格系、神経系)	1前	1									兼1
	解剖学Ⅱ(呼吸器系、循環器系)	1後	1									兼1
	解剖学実習	1前	1			1	1		1			兼1
	生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1									兼1
	生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1									兼1
	生理学実習	1後	1			1	1	1				兼1
	病理学	1後	1									兼1
	運動学Ⅰ(頭頸部、上肢)	1前	1			1						
	運動学Ⅱ(体幹、下肢)	1後	1			1						
	運動生理学	2前	1				1	1				
	運動学実習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1前	1									兼1
	内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	神経内科学Ⅰ(総論)	2前	1			1						
	神経内科学Ⅱ(各論)	2後	1			1						
	整形外科Ⅰ(総論)	2前	1			1						
	整形外科Ⅱ(各論)	2後	1			1						
精神医学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1	
精神医学Ⅱ(各論)	2後		1								兼1	
小児科学	2前	1									兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュャーズセミナー	1前	1			1	1					兼2
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1		1						
	福岡の歴史と文化	1前	1			1						兼1
	健康科学入門	1前	1			2						兼2
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
物理学	1前		1								兼1	
英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1	
英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1	
韓国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1		1						兼1	
韓国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1		1						兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1				1						
スポーツ実践	1後		1			1						
小計(29科目)	-	-	16	13	0	3	2	0	0	0	0	兼20
専門基礎	解剖学Ⅰ(筋骨格系、神経系)	1前	1									兼1
	解剖学Ⅱ(呼吸器系、循環器系)	1後	1									兼1
	解剖学実習	1前	1			1	1		1			兼1
	生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1									兼1
	生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1									兼1
	生理学実習	1後	1			1	1	1				兼1
	病理学	1後	1									兼1
	運動学Ⅰ(頭頸部、上肢)	1前	1			1						
	運動学Ⅱ(体幹、下肢)	1後	1			1						
	運動生理学	2前	1				1	1				
	運動学実習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1前	1									兼1
	内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	神経内科学Ⅰ(総論)	2前	1			1						
	神経内科学Ⅱ(各論)	2後	1			1						
	整形外科Ⅰ(総論)	2前	1			1						
	整形外科Ⅱ(各論)	2後	1			1						
精神医学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1	
精神医学Ⅱ(各論)	2後		1								兼1	
小児科学	2前	1									兼1	

分野	老年学	2後	1																	兼1
	救急救命医学	2後	1			1														
	公衆衛生学	1後		1																兼1
	臨床心理学概論	2前	1																	兼1
	リハビリテーション医学	1後	1																	兼1
	医療危機管理論	3前		1		1														
	医学概論	1前	1			2														兼1
	栄養学	1後	1																	兼1
	薬理学	1後	1																	兼1
	医用画像診断学	3前	1																	兼1
	リハビリテーション概論	1前	1			1														
	ケアマネジメント論	3前		1																兼1
	カウンセリング論	1前		1																兼1
保健医療福祉制度論	1前	2																	兼1	
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1			1	1		1											兼6	
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1			3	3													兼12	
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における専攻)	3前	1				2	4	4											兼26	
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1				2	4	4											兼26	
小計(39科目)	-	29	7	0	7	4	4	4	0										兼44	
専門分野	理学療法学概論	1前	1			1														
	体表解剖学演習	1後	1			1	1	1												
	バイオメカニクス	1後	1			1	1		1											
	病態運動学	3後	1			1		1												
	基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン)	1後	1			1	1	1												
	基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定)	2後	1			1		2												
	基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決)	3前	1			1	1	1												
	基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション)	3後	1			1	1	1												
	理学療法管理学	3後	2			1														
	理学療法評価法	1後	1					2												
	理学療法評価演習Ⅰ(運動器系)	2前	2					1	2											
	理学療法評価演習Ⅱ(神経系)	2前	1			1	1	1												
	理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価)	2後	1			1	1	1												
	医用画像評価学	3後	1			1			1											
	動作分析学	2後		1		1			1											
	理学療法臨床推論	3後		1				1												
	物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水浴・牽引)	2前	1					1												兼1
	物理療法Ⅱ(電気・光線・振動)	2後	1					1												兼1
	運動療法学	2前	2			1		1												
	理学療法技術学Ⅰ(総論)	3前	1					1	1											
	理学療法技術学Ⅱ(各論)	3後		1				1												
	運動器系理学療法Ⅰ(実形・数値・機能性疾患)	3前	2					1	1											
	運動器系理学療法Ⅱ(骨格・骨髄・軟部組織疾患)	3後	2			1		1												兼1
	神経系理学療法Ⅰ(脳卒中)	3前	2			1			1											
	神経系理学療法Ⅱ(神経障害)	3後	2					2												
	高次脳機能障害学	3後		1		1														
	呼吸器系理学療法	3前	2					1												
	代謝系理学療法	3後	1					1												兼1
	循環器系理学療法	3後	1					1												
	疼痛理学療法	2後		1				1												
	小児理学療法	2後	2																	兼1
	装具学	2前	1																	兼1
	義肢学	2後	1																	兼1
生活環境論	2前	1			1															
福祉住環境論	2前		1		1															
生活技術学	2後	2					1													
地域理学療法	2後	1			1															
予防理学療法	3前	1			1															
高度先進医療論	3後		1		6	2														
理学療法特論Ⅰ(基礎)	3後	1				3	4	4												
理学療法特論Ⅱ(応用)	4後	1				3	4	4												
基礎臨床実習Ⅰ	1前	1			4	4	4	4											兼1	
基礎臨床実習Ⅱ	1後	1			4	4	4	4											兼1	

分野	老年学	2後	1																		兼1
	救急救命医学	2後	1			1															
	公衆衛生学	1後		1																兼1	
	臨床心理学概論	2前	1																	兼1	
	リハビリテーション医学	1後	1																	兼1	
	医療危機管理論	3前		1		1															
	医学概論	1前	1			2														兼1	
	栄養学	1後	1																	兼1	
	薬理学	1後	1																	兼1	
	医用画像診断学	3前	1																	兼1	
	リハビリテーション概論	1前	1			1															
	ケアマネジメント論	3前		1																兼1	
	カウンセリング論	1前		1																兼1	
保健医療福祉制度論	1前	2																	兼1		
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1			1	1		1				1		1					兼6		
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1			3	3						3		3					兼12		
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における専攻)	3前	1				2	4	4					2	4	4				兼26		
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1				2	4	4					2	4	4				兼26		
小計(39科目)	-	29	7	0	7	4	4	4	0			5	4	4	4	0			兼44		
専門分野	理学療法学概論	1前	1			1															
	体表解剖学演習	1後	1			1	1	1													
	バイオメカニクス	1後	1			1	1		1												
	病態運動学	3後	1			1		1													
	基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン)	1後	1			1	1	1													
	基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定)	2後	1			1		2													
	基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決)	3前	1			1	1	1													
	基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション)	3後	1			1	1	1													
	理学療法管理学	3後	2			1															
	理学療法評価法	1後	1					2													
	理学療法評価演習Ⅰ(運動器系)	2前	2					1	2												
	理学療法評価演習Ⅱ(神経系)	2前	1			1	1	1													
	理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価)	2後	1			1	1	1													
	医用画像評価学	3後	1			1			1												
	動作分析学	2後		1		1			1												
	理学療法臨床推論	3後		1				1													
	物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水浴・牽引)	2前	1					1												兼1	
	物理療法Ⅱ(電気・光線・振動)	2後	1					1													

検査測定臨床実習Ⅰ	2後	1			4	4	4	4		兼1
検査測定臨床実習Ⅱ	3前	1			4	4	4	4		兼1
地域臨床実習	3後	1			4	4	4	4		兼1
評価臨床実習	3後	3			4	4	4	4		兼1
総合臨床実習Ⅰ	4前	6			4	4	4	4		兼1
総合臨床実習Ⅱ	4前	6			4	4	4	4		兼1
卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)	3後	2			4	4	4	4		兼1
卒業研究Ⅱ(研究の実践)	4後	2			4	4	4	4		兼1
小計(51科目)	-	73	3	0	4	4	4	4	0	兼4
合計(119科目)	-	118	23	0	9	5	4	4	0	兼66
卒業要件及び履修方法										
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野必修35単位、専門分野必修68単位に加え、専門基礎分野及び専門分野の合計で106単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。										

検査測定臨床実習Ⅰ	2後	1			4	4	4	4		兼1
検査測定臨床実習Ⅱ	3前	1			4	4	4	4		兼1
地域臨床実習	3後	1			4	4	4	4		兼1
評価臨床実習	3後	3			4	4	4	4		兼1
総合臨床実習Ⅰ	4前	6			4	4	4	4		兼1
総合臨床実習Ⅱ	4前	6			4	4	4	4		兼1
卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)	3後	2			4	4	4	4		兼1
卒業研究Ⅱ(研究の実践)	4後	2			4	4	4	4		兼1
小計(51科目)	-	73	3	0	4	4	4	4	0	兼4
合計(119科目)	-	118	23	0	7	5	4	4	0	兼66
卒業要件及び履修方法										
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野必修35単位、専門分野必修68単位に加え、専門基礎分野及び専門分野の合計で106単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

**【令和4年度】**

医学概論について、専任教員辞退に伴い教授0、兼1に変更

- (注) ・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
94 科目	25 科目	0 科目	119 科目	94 科目 [ 0 ]	25 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	119 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{119} = \boxed{\phantom{0}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	11,007.03 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,007.03 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	653.38 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	653.38 m <sup>2</sup>		
	小 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		
	合 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	37室	41室	3室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体	
	看護学部						
	リハビリテーション学部		59 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
	大学全体	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
		計	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	884.72 m <sup>2</sup>		172 席		35,000 冊		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	1,330.18 m <sup>2</sup>		—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	26,485千円	4,938千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	369,948千円	19,303千円	19,402千円
		学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次
	1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,450千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	令和健康科学大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学部											
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.22	1.22	-	令和4	福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号	
リハビリテーション学部											
理学療法学科	4	80	0	320	学士(理学療法学)	0.95	0.95	-	令和4	同上	
作業療法学科	4	60	0	240	学士(作業療法学)	0.51	0.51	-	令和4	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授(学長)	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士	専	教授(学長)	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※			フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※
専	教授(学部学長)	山田 達夫 (73) <令和4年4月> 医学博士			
		神経内科学Ⅰ(総論) 神経内科学Ⅱ(各論) 医学概論※ 高度先進医療論※			
			兼担	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
					医学概論※
					AC教員審査予定教員
					神経内科学Ⅰ(総論) 神経内科学Ⅱ(各論) 高度先進医療論※
専	教授	関矢 仁 (61) <令和4年4月> 医学博士	専	教授	関矢 仁 (61) <令和4年4月> 医学博士
		整形外科Ⅰ(総論) 整形外科Ⅱ(各論) 高度先進医療論※			整形外科Ⅰ(総論) 整形外科Ⅱ(各論) 高度先進医療論※
専	教授	郡山 一明 (63) <令和4年4月> 博士(医学)			
		救急救命医学 医療危機管理論 医学概論※			
					AC教員審査予定教員
					救急救命医学 医療危機管理論
			兼担	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
					医学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松原 孝俊 (71) <令和4年4月> 文学修士※	専	教授	松原 孝俊 (71) <令和4年4月> 文学修士※
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)			アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)
専	教授 (学科長)	溝田 勝彦 (70) <令和4年4月> 修士(経営学)	専	教授 (学科長)	溝田 勝彦 (70) <令和4年4月> 修士(経営学)
		健康科学入門※ リハビリテーション概論 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 理学療法概論 理学療法管理論 生活環境論 福祉住環境論 地域理学療法 予防理学療法 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			健康科学入門※ リハビリテーション概論 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 理学療法概論 理学療法管理論 生活環境論 福祉住環境論 地域理学療法 予防理学療法 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
専	教授	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授 (学科長)	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 体表解剖学演習 バイオメカニクス 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 運動療法学 運動器系理学療法Ⅱ(骨折・脊髄・絞扼性疾患) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 体表解剖学演習 バイオメカニクス 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 運動療法学 運動器系理学療法Ⅱ(骨折・脊髄・絞扼性疾患) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
専	教授	古後 晴基 (56) <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	古後 晴基 (56) <令和4年4月> 博士(医学)
		運動学Ⅰ(頭頸部・上肢) 運動学Ⅱ(体幹・下肢) 解剖学実習※ 生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			運動学Ⅰ(頭頸部・上肢) 運動学Ⅱ(体幹・下肢) 解剖学実習※ 生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)	専	教授	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 医用画像評価学※ 動作分析学 神経系理学療法Ⅰ(脳卒中) 高次脳機能障害学 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 運動学実習 理学療法評価演習Ⅱ(神経系)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 医用画像評価学※ 動作分析学 神経系理学療法Ⅰ(脳卒中) 高次脳機能障害学 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 運動学実習 理学療法評価演習Ⅱ(神経系)
専	准教授	弓岡 光徳 (68) <令和4年4月> 博士(社会福祉学)	専		
		フレッシュアップセミナー 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 病態運動学 理学療法技術Ⅰ(総論) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 神経系理学療法Ⅰ(脳卒中) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用)			
			専	教授(学長)	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
					フレッシュアップセミナー
			専		AC教員審査予定教員
					専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 病態運動学 理学療法技術Ⅰ(総論) 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 神経系理学療法Ⅰ(脳卒中) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)※	専	准教授	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)※
		解剖学実習※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 体表解剖学演習 バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 生活技術学 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			解剖学実習※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 体表解剖学演習 バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 生活技術学 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
専	准教授	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)	専	准教授	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習 運動生理学 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 呼吸器系理学療法学 循環器系理学療法学 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			生理学実習 運動生理学 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 呼吸器系理学療法学 循環器系理学療法学 高度先進医療論※ 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	講師	阿波 邦彦 (40) <令和4年4月> 博士(保健学)			
		生理学実習 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ			
					AC教員審査予定教員
					生理学実習 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ
専	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践			スポーツ理論 スポーツ実践



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	八谷 瑞紀 (46) <令和5年4月> 博士(医学)	専	准教授	八谷 瑞紀 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 理学療法評価演習Ⅱ(神経系) 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 神経系理学療法Ⅱ(神経難病) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 理学療法評価演習Ⅱ(神経系) 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 神経系理学療法Ⅱ(神経難病) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	講師	八谷 瑞紀 (45) <令和4年4月> 博士(医学)			
		基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ			
					AC教員審査予定教員
					基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	齊藤 貴文 (42) <令和4年4月> 博士(人間環境学)	専	講師	齊藤 貴文 (42) <令和4年4月> 博士(人間環境学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 理学療法臨床推論 運動療法学 理学療法技術Ⅱ(各論) 運動器系理学療法Ⅰ(変形・軟部組織性疾患) 疼痛理学療法 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 運動器系理学療法Ⅱ(骨折・脊髄・絞扼性疾患)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 理学療法臨床推論 運動療法学 理学療法技術Ⅱ(各論) 運動器系理学療法Ⅰ(変形・軟部組織性疾患) 疼痛理学療法 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 運動器系理学療法Ⅱ(骨折・脊髄・絞扼性疾患)
		吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)			吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
専	講師	吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)	専	講師	吉澤 隆志 (51) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 理学療法評価法			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践) 理学療法評価法
		岡 真一郎 (45) <令和4年4月> 博士(保健医療学)			岡 真一郎 (45) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
専	講師	岡 真一郎 (45) <令和4年4月> 博士(保健医療学)	専	講師	岡 真一郎 (45) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		運動学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 体表解剖学演習 理学療法評価演習Ⅱ(神経系) 物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水治・牽引) 物理療法Ⅱ(電気・光線・振動) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			運動学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 体表解剖学演習 理学療法評価演習Ⅱ(神経系) 物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水治・牽引) 物理療法Ⅱ(電気・光線・振動) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)
		運動生理学 生理学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 理学療法評価法 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 代謝系理学療法学 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			運動生理学 生理学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 理学療法評価法 理学療法評価演習Ⅲ(疾患別評価) 代謝系理学療法学 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
		松本 典久 (58) <令和5年4月> 修士(健康福祉学)			専
専	助教	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)	専	助教	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 基礎理学療法演習Ⅲ(問題解決) 基礎理学療法演習Ⅳ(スキルシミュレーション) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
		松本 典久 (57) <令和4年4月> 修士(健康福祉学)	兼任	講師	松本 典久 (57) <令和4年4月> 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ	兼任	講師	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 基礎理学療法演習Ⅰ(キャリアデザイン) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	岡本 伸弘 (45) <令和6年4月> 修士(理学療法学)	専	助教	岡本 伸弘 (43) <令和6年4月> 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	講師	岡本 伸弘 (43) <令和4年4月> 修士(理学療法学)	兼任	講師	岡本 伸弘 (43) <令和4年4月> 修士(理学療法学)
		バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ			バイオメカニクス 基礎理学療法演習Ⅱ(検査・測定) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器系) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ
専	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)	専	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 病態運動学 医用画像評価学※ 理学療法技術学Ⅰ(総論) 運動器系理学療法学Ⅰ(変形・軟部組織性疾患) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 病態運動学 医用画像評価学※ 理学療法技術学Ⅰ(総論) 運動器系理学療法学Ⅰ(変形・軟部組織性疾患) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	講師	原田 伸哉 (39) <令和4年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	原田 伸哉 (39) <令和4年4月> 修士(医科学)
		基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ			基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)	専	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		動作分析学 解剖学実習※ 運動学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器 系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			動作分析学 解剖学実習※ 運動学実習 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 理学療法評価演習Ⅰ(運動器 系) 理学療法特論Ⅰ(基礎) 理学療法特論Ⅱ(応用) 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	教授	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士	兼任	教授	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士
		健康科学入門※			健康科学入門※
兼任	教授	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			フレッシュャーズセミナー 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	辻 慶子 (66) <令和4年4月> 博士(理工学)	兼任	教授	辻 慶子 (66) <令和4年4月> 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	勝野 とわ子 (70) <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science(米国)	兼任	教授	勝野 とわ子 (70) <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science(米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士(医療経営・管理学)	兼任	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士(医療経営・管理学)※
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	白石 裕子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	白石 裕子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	教授	田中 裕二 (65) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	田中 裕二 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	近藤 敏 (72) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	近藤 敏 (72) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュヤーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			フレッシュヤーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
		医学概論※			医学概論※
兼任	教授	中山 広宣 (71) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中山 広宣 (71) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (65) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	教授	田中 悟郎 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (74) <令和4年4月> Master of Science(米国)	兼任	教授	小西 紀一 (74) <令和4年4月> Master of Science(米国)
		人間発達学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			人間発達学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	谷川 良博 (53) <令和4年4月> 修士(人間関係学)	兼任	准教授	谷川 良博 (53) <令和4年4月> 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)	兼任	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)	兼任	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)	兼任	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)	兼任	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 聡子 (42) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	大村 由紀美 (47) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	岩倉 真由美 (51) <令和4年4月> 修士(医療経営管理学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 宗賢 (38) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	中本 亮 (47) <令和5年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	角田 孝行 (44) <令和4年4月> 修士(保健福祉学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 博士(保健科学) 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 聡子 (42) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	大村 由紀美 (47) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	岩倉 真由美 (51) <令和4年4月> 修士(医療経営管理学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 宗賢 (38) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	中本 亮 (47) <令和5年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	角田 孝行 (44) <令和4年4月> 修士(保健福祉学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 博士(保健科学) 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	太田 研吾 (44) <令和4年4月> 修士(心理学)	兼任	助教	太田 研吾 (44) <令和4年4月> 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重)
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教育学			教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)	兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 臨床心理学概論 カウンセリング			心理学 発達心理学 臨床心理学概論 カウンセリング
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) <令和4年4月> 博士(人文科学)	兼任	講師	宮崎 聖子 (57) <令和4年4月> 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学			ジェンダー論 文化人類学
兼任	講師	岡 克彦 (61) <令和4年4月> 博士(法学)	兼任	講師	岡 克彦 (61) <令和4年4月> 博士(法学)
		法学			法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) <令和5年4月> 修士(経営学)	兼任	講師	加藤 佳奈 (36) <令和5年4月> 修士(経営学)
		経営学			経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) <令和4年4月> 博士(農学)	兼任	講師	山下 亜希子 (50) <令和4年4月> 博士(農学)
		社会学			社会学
兼任	講師	倉田 剛 (51) <令和4年4月> 修士(哲学)※	兼任	講師	倉田 剛 (51) <令和4年4月> 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法			倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) <令和4年4月> 修士(人間環境学)	兼任	講師	吉原 克枝 (54) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論			人間関係論 コミュニケーション論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山根 健至 (44) <令和4年4月> 博士(国際関係学)	兼任	講師	山根 健至 (44) <令和4年4月> 博士(国際関係学)
		国際関係論			国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	宮井 善朗 (59) <令和4年4月> 文学修士
		福岡の歴史と文化※			福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	藤村 直美 (71) <令和4年4月> 工学博士
		医療と情報リテラシー			医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) <令和4年4月> 博士(情報科学)	兼任	講師	山下 貴範 (42) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		統計学			統計学
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)	兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物学			生物学
兼任	講師	黒木 昌一 (61) <令和4年4月> 博士(物理学)	兼任	講師	黒木 昌一 (61) <令和4年4月> 博士(物理学)
		物理学			物理学
兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)			英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)	兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話)			韓国語Ⅰ(日常会話)
兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士※
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)			中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖学Ⅰ(筋骨格系・神経系) 解剖学Ⅱ(呼吸器系・循環器系) 解剖学実習※			解剖学Ⅰ(筋骨格系・神経系) 解剖学Ⅱ(呼吸器系・循環器系) 解剖学実習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		生理学Ⅰ(動物性機能) 生理学Ⅱ(植物性機能) 病理学			生理学Ⅰ(動物性機能) 生理学Ⅱ(植物性機能) 病理学
兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士
		内科学Ⅰ(総論)			内科学Ⅰ(総論)
兼任	講師	北園 孝成 (63) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	北園 孝成 (63) <令和5年4月> 医学博士
		内科学Ⅱ(各論)			内科学Ⅱ(各論)
兼任	講師	堀 輝 (44) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	堀 輝 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		精神医学Ⅰ(総論) 精神医学Ⅱ(各論)			精神医学Ⅰ(総論) 精神医学Ⅱ(各論)
兼任	講師	大賀 正一 (63) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大賀 正一 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学			小児科学
兼任	講師	大中 佳三 (60) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	大中 佳三 (60) <令和5年4月> 医学博士
		老年学			老年学
兼任	講師	二宮 利治 (53) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	二宮 利治 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学			公衆衛生学
兼任	講師	稲川 利光 (67) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	稲川 利光 (67) <令和4年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学			リハビリテーション医学
兼任	講師	中村 強 (66) <令和4年4月> 博士(農学)	兼任	講師	中村 強 (66) <令和4年4月> 博士(農学)
		栄養学			栄養学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	豊平 由美子 (65) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	豊平 由美子 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学			薬理学
兼任	講師	石神 康生 (52) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	石神 康生 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		医用画像診断学			医用画像診断学
兼任	講師	西崎 緑 (65) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	講師	西崎 緑 (65) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)
		ケアマネジメント論			ケアマネジメント論
兼任	講師	西 貴倫 (42) <令和4年4月> 博士(政治学)	兼任	講師	西 貴倫 (42) <令和4年4月> 博士(政治学)
		保健医療福祉制度論			保健医療福祉制度論
兼任	講師	善明 雄太 (35) <令和5年4月> 修士(医療福祉教育・管理)	兼任	講師	善明 雄太 (35) <令和5年4月> 修士(医療福祉教育・管理)
		物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水 治・牽引) 物理療法Ⅱ(電気・光線・振 動) 神経生理学療法学Ⅱ(神経難 病) 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)			物理療法Ⅰ(温熱・寒冷・水 治・牽引) 物理療法Ⅱ(電気・光線・振 動) 神経生理学療法学Ⅱ(神経難 病) 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ(研究計画の立案) 卒業研究Ⅱ(研究の実践)
兼任	講師	渡邊 一也 (40) <令和4年4月> 修士(工学)	兼任	講師	渡邊 一也 (40) <令和4年4月> 修士(工学)
		代謝生理学療法学 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習			代謝生理学療法学 基礎臨床実習Ⅰ 基礎臨床実習Ⅱ 検査測定臨床実習Ⅰ 検査測定臨床実習Ⅱ 地域臨床実習 評価臨床実習
兼任	講師	水野 健太郎 (43) <令和4年4月> 修士(保健医療学)	兼任	講師	水野 健太郎 (43) <令和4年4月> 修士(保健医療学)
		小児理学療法学			小児理学療法学
兼任	講師	遠藤 正英 (39) <令和4年4月> 専門学校卒	兼任	講師	遠藤 正英 (39) <令和4年4月> 専門学校卒
		装具学 義肢学 運動器理学療法学Ⅱ(骨折・ 脊髄・絞扼性疾患)			装具学 義肢学 運動器理学療法学Ⅱ(骨折・ 脊髄・絞扼性疾患)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					<b>兼任講師補充予定</b>
					<b>運動器系理学療法Ⅱ(骨折・ 脊髄・絞扼性疾患)</b>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を昇
  - その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してく
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

山田達夫教授就任辞退により、富永隆治教授に変更。令和3年8月教員審査済み。 山田達夫教授就任辞退により、山口浩雄特任教授に変更。(令和4年AC教員審査予定) 山田達夫教授就任辞退により、稲川利光特任教授に変更。(令和4年AC教員審査予定) 郡山一明教授就任辞退により、後任未決定であるが、令和5年4月から専任教員採用予定で公募中。 郡山一明教授就任辞退により、富永隆治教授に変更。令和3年8月教員審査済み。 溝田勝彦教授学科長辞退のため、水崎孝之教授に変更。 弓岡光徳准教授就任辞退により、西村泰治教授に変更。令和3年8月教員審査済み。 弓岡光徳准教授就任辞退により、後任未決定であるが、令和5年4月から専任教員採用予定で公募中。 阿波邦彦講師(兼任)の担当が難しくなったため、大田瑞穂助手に変更。(助教にて令和4年AC教員審査予定) 阿波邦彦講師(兼任)の担当が難しくなったため、野中嘉代子助手に変更。(助教にて令和4年AC教員審査予定) 八谷瑞紀講師(兼任)の担当が難しくなったため、澤田誠講師(兼任)に変更(教員審査省略)。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	5	4	4	22	2	6	3	3	1	17	2
(6)	(3)	(3)	(1)	(17)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	4	4	4	22	2	9	5	4	4	22	2
[Δ2]	[Δ1]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員 うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{22}{22} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{3}{17} = \boxed{17.64} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	山田 達夫	R4.4	必修	神経内科学Ⅰ（総論）	①	R4.4 健康上の理由により就任辞退（4）		
				必修	神経内科学Ⅱ（各論）	①			
				必修	医学概論※	①			
				選択	高度先進医療論※	①			
2	教授	郡山 一明	R4.4	必修	救急救命医学	①	R4.4 従前機関での雇用継続のため就任辞退（4）		
				選択	医療危機管理論	①			
2	准教授	弓岡 光徳	R4.4	必修	フレッシュアップセミナー	①	R4.4 従前機関での雇用継続のため就任辞退（4）		
				必修	専門臨床教育Ⅲ（専門臨床教育の構築）	①			
				必修	病態運動学	①			
				必修	理学療法技術学Ⅰ（総論）	①			
				選択	高度先進医療論※	①			
				必修	基礎臨床実習Ⅰ	①			
				必修	基礎臨床実習Ⅱ	①			
				必修	検査測定臨床実習Ⅰ	①			
				必修	検査測定臨床実習Ⅱ	①			
				必修	地域臨床実習	①			
				必修	評価臨床実習	①			
				必修	総合臨床実習Ⅰ	①			
				必修	総合臨床実習Ⅱ	①			
				必修	卒業研究Ⅰ（研究計画の立案）	①			
				必修	卒業研究Ⅱ（研究の実践）	①			
				必修	専門臨床教育Ⅱ（専門臨床教育における展開）	①			
				必修	専門臨床教育Ⅳ（専門臨床教育における展開）	①			
必修	神経系理学療法Ⅰ（臨床中）	①							
必修	理学療法特論Ⅰ（基礎）	①							
必修	理学療法特論Ⅱ（応用）	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	24 科目	必修	24 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	27 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」



(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	24 科目	必修	24 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	27 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{22} = 13.63 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任による学生の履修等への影響は、1年次科目は「医学概論」「フレッシュャーズセミナー」「基礎臨床実習Ⅰ」「基礎臨床実習Ⅱ」であり、オムニバス科目が多くを占めており他の専任教員を充てることによりシラバス通りに講義を遂行している。学生の周知方法については履修登録の説明の際および初回の講義において周知を行った。他の科目については、次年度以降の開講科目であり教員審査を経た科目責任者を開講までに決定を行うので学生への履修への影響は限定的であるとする。今後の方針として就任辞退の教員の後任予定教員は、後任が決定または公募受付が完了しており今後、AC教員審査を受け科目責任者の決定を行う。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	設置の趣旨・目的等が 生かされるよう、設置 計画を確実に履行する こと。また、開設時か ら4年制大学にふさわ しい教育研究活動を行 うことはもとより、そ の水準を一層向上させ るよう努めること。	遵守事項  設置の趣旨・目的等が生か され、設置計画が確実に履 行されるよう運営組織を組 織し、月に1回会議を行い 点検改善を行っている。4 年制大学にふさわしい教育 研究活動が行われるよう、 学長は教授会をはじめ各種 委員会を通じで教育目標、 カリキュラムへの適切な取 り組みを図っている。	履行中
認 可 時 (令和3年)	専任教員資格審査の結果 により、教員の補充 が必要とされた授業科 目については、確実に 教員を充足させるこ と。(リハビリテー ション学部理学療法学 科)	遵守事項  当該科目は「運動器系理学 療法学Ⅱ(骨折・脊髄・絞 扼性疾患)」3年生後期科 目であり、兼任補充可との 審査結果が出ている。これ を受け兼任教員の募集を 行って授業開講前年度ま でに授業担当兼任教員を決 定する予定である。	履行中
認 可 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規 程に定める退職年齢を 超える専任教員数の割 合が高いことから、定 年規程の趣旨を踏まえ た適切な運用に努め るとともに、教員組織編 制の将来構想について 着実に実施すること。	遵守事項  高度専門職業人を養成する ことを養成する人材像とし ており、高い教育水準を有 する教員を配置したため初 年度は4名、完成年度は9名 の教員が定年規程の退職年 齢を超えることとなる。こ れらの教員は定年の特例に 関する規程の適用を受け、 高い教育研究の水準を維持 しつつ教員年齢構成に配慮 し、中長期的に視野に立っ た人事計画のもと教員組織 を整備することとしている。	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <リハビリテーション学部 理学療法学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期）</p> <p>選抜方法とし、学力試験および面接試験により判定を行う。</p>	<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期Ⅰ期・Ⅱ期）</p> <p>選抜方法とし、学力試験により判定を行う。</p> <p>令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインに従い、受験機会の確保に努めるべく、後期Ⅱ期試験を設定し追試験に対応出来るようにした。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症罹患患者増加に伴い、当初予定していた面接試験を取りやめ、感染拡大のリスク低減とし、調査書および学力試験により判定を行った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>各学科の教授、准教授および講師のうちから学部長の推薦に基づき学長が指名した者で構成された、令和健康科学大学FD・SD委員会を設置し、取り組むこととしている。実際の教育運営を司る教務委員会と連携し、高度専門職業人を養成するよう、設置の趣旨・目的を踏まえ教育水準の向上に取り組む予定である。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2022年6月より開始予定。毎月第2水曜日実施予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動の啓発に関すること。</li> <li>・ 授業方法についての研究会</li> <li>・ 授業公開の企画・運営に関すること。</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 学生及び職員相互による授業評価に関すること。</li> <li>・ 各学部・各学科が行うFD活動の支援に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る施設・設備等の改善に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る講演会及び研究等に関すること。</li> <li>・ その他FD活動の推進に必要な事項に関すること。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>未実施</p> <p>b 実施方法</p> <p>未実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>未実施</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
未実施
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期  
すべての講義において各講義の最終講義日（前期：8月、後期：1月）にWEBによる授業評価アンケートの実施を
  - b 教員や学生への公開状況、方法等  
FD・SD委員会はアンケート結果を学長に報告を行い、学長はアンケート結果のフィードバックを授業担当教員に行い授業改善に役立ててもらふ。学生にはアンケート結果を取り纏めポータルサイトに掲載を行い、履修登録の参考資料としてもらう。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
  - a 委員会の設置状況  
該当なし
  - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）  
該当なし
  - c 委員会の審議事項等  
該当なし
  - d その他  
該当なし
- ② 審議状況  
該当なし
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況  
該当なし
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況  
該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人巨樹の会は「全ての人に対して、24時間・365日、患者のための医療を行う」という創設者の信念に鑑み、「手には技術、頭には知識、患者には愛を」を建学の精神としている。「手には技術」とは「技の修得」を意味し、高度医療の提供と先進医療の導入を図りつつ、安全性・安楽性・信頼性に長け、卓越した技術・技能を修得し、プロフェッショナルとして誇りと責任をもった人を養成するための考えである。「頭には知識」とは「知の探究」を意味する。医療の進歩発展の土台となる探究的思考を身につけ、地域医療の質向上と共に各専門領域の深化を進めるための基礎となる探究心である。「患者には愛を」とは「心の涵養」を意味する。豊かな人間性を有し、経験を深める洞察力と内省力を磨き、職業倫理をもって全ての患者に寄り添い、優しく接することができる「全人的医療」を提供できる人を養成することを目的に設置した。

この目的を達成すべく開学後4月より医療従事者としての素養を身に着けた医療人を養成すべく、基幹分野科目である「コミュニケーション論」「医療と情報リテラシー」「論理的思考法」では対象者を全人的に深く理解し、素直に受け入れ、相互に良好な関係を築くことができる能力を学修している。専門基礎分野科目である「解剖学Ⅰ」「解剖学Ⅱ」では今後の医療人としての根幹である人体に対する理解が深まるように基礎知識を学修している。専門分野科目である「理学療法概論」「バイオメカニクス」では理学療法学全体の基本的な知識を学修し、科学的根拠に基づいた実践を支える知識体系、健康の保持・増進・QOLを支えるケアについて知識の修得を行っている。

設置の趣旨・目的を達成するため、幅広い教養、職業倫理、保健医療に関する基礎知識の修得が進んでいるものと考えている。

上記の理念等を踏まえ6年ごとの中期計画を策定しており、中期計画を達成するため毎年度の事業計画を作成している。

事業計画については毎年度、達成状況の点検評価を行い理事会に報告を行う。

これらの状況をとりまとめ、②のとおり自己点検・評価を行う予定である。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和9年6月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和9年6月1日を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に認証評価受審機関を選定し、自己点検・評価を含む実施日程の作成を行う。選定した認証評価機関で令和10年に受審を行うよう計画行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人巨樹の会

## (2) 大学名

令和健康科学大学 リハビリテーション学部 作業療法学科

## (3) 調査対象大学等の位置

〒811-0213  
福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジイ シゲル) 藤井 茂 (平成31年4月)		
学長	(ニシムラ ヤスハル) 西村 泰治 (令和4年4月)		
学部長	(ヤマダ タツオ) 山田 達夫 (令和4年4月)	(イナガワ トシミツ) 稲川 利光 (令和4年4月)	健康上の理由により就任辞退のため変更 令和4年4月1日 (4)
学科長等	(コンドウ サトシ) 近藤 敏 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員 年次	收容定員		
リハビリテーション学部 作業療法学科 学士（作業療法学）	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	4 年	60 人	0 人	240 人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	60人 (—) [—]	— (—) [—]	0.51倍	—倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	36 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	35 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	38 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	31 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A									0.51				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してしてください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。



(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	31 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/				— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	31 [ — ] ( — )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和4年度	31人	0人	令和4年度	31人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<リハビリテーション学部 作業療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュワーズセミナー	1前	1			1						兼3
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1			1						兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1
	英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1
	韓国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼2
韓国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1									兼1	
スポーツ実践	1後		1								兼1	
小計(29科目)	-	-	16	13	0	1	0	0	0	0	0	兼24
専門基礎分野	解剖学Ⅰ(筋骨格系、神経系)	1前	1									兼1
	解剖学Ⅱ(呼吸器系、循環器系)	1後	1									兼1
	解剖学実習	1前	1			1						兼2
	生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1									兼1
	生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1									兼1
	生理学実習	1後	1			1		1				兼1
	病理学	1後	1									兼1
	運動学Ⅰ(総論、上肢)	1後	1					1				
	運動学Ⅱ(下肢、歩行)	2前	1					1				
	運動生理学	2後	1					1				
	運動学実習	2前	1					1	2			
	人間発達学	1前	1			1						
	内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	神経内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	神経内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	整形外科Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	整形外科Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	精神医学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	精神医学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
小児科学	2前	1									兼1	
老年学	2後	1									兼1	
救急救命医学	2後	1									兼1	
公衆衛生学	1後		1								兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュワーズセミナー	1前	1			1						兼3
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1				1					兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1
	英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1
	韓国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼2
韓国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
中国語Ⅰ(日常会話)	2・3前		1								兼1	
中国語Ⅱ(医療会話)	2・3後		1								兼1	
スポーツ理論	1前	1									兼1	
スポーツ実践	1後		1								兼1	
小計(29科目)	-	-	16	13	0	1	0	0	0	0	0	兼24
専門基礎分野	解剖学Ⅰ(筋骨格系、神経系)	1前	1									兼1
	解剖学Ⅱ(呼吸器系、循環器系)	1後	1									兼1
	解剖学実習	1前	1			1						兼2
	生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1									兼1
	生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1									兼1
	生理学実習	1後	1			1		1				兼1
	病理学	1後	1									兼1
	運動学Ⅰ(総論、上肢)	1後	1					1				
	運動学Ⅱ(下肢、歩行)	2前	1					1				
	運動生理学	2後	1					1				
	運動学実習	2前	1					1	2			
	人間発達学	1前	1			1						
	内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	神経内科学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	神経内科学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	整形外科Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	整形外科Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
	精神医学Ⅰ(総論)	2前	1									兼1
	精神医学Ⅱ(各論)	2後	1									兼1
小児科学	2前	1									兼1	
老年学	2後	1									兼1	
救急救命医学	2後	1									兼1	
公衆衛生学	1後		1								兼1	

臨床心理学概論	2前	1								兼1
リハビリテーション医学	1後	1								兼1
医療危機管理論	3前	1								兼1
医学概論	1前	1		1						兼2
栄養学	1後	1								兼1
薬理学	1後	1								
医用画像診断学	3前	1								兼1
リハビリテーション概論	1前	1		1						
ケアマネジメント論	3前	1								兼1
カウンセリング論	1前	1								兼1
保健医療福祉制度論	1前	2								兼1
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1		1		1				兼7
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1		3		1				兼14
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における専攻)	3前	1		4	1	1	2			兼28
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における臨床)	4後	1		5	1	2				兼28
小計(39科目)	-	35	5	0	8	0	3	2	0	兼55
作業療法学概論	1前	2		1						
作業科学	1後	2		1						
作業療法理論	2前	1		1						
作業療法研究法	2後	1		3						
作業療法管理学	3後	2		1						
作業療法評価学	2前	2		1						
身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系)	2前	2			1	2				
身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系)	2後	1		1		1				
精神機能評価学演習	2前	1			1	1				
発達期評価学演習	2後	1		1		1				
作業療法臨床推論	2後	2		1						
生活行為向上マネジメント	2後	1			1					
作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析)	1前	1					4			
作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析)	1後	1			1	3				
日常生活支援学	2前	1		1						
日常生活支援学演習	2後	1		1		1				
機能代償学	3前	1		1						
身体機能作業療法学	3前	1			1					
身体機能作業療法学演習	3後	1			1	1				
精神機能作業療法学	3前	1		2						
精神機能作業療法学演習	3後	1		2	1					
発達期作業療法学	3前	1		1			1			
発達期作業療法学演習	3後	1		1		1				
高齢期作業療法学	3前	1			1					
高齢期作業療法学演習	3後	1			1	1	1			
高次脳機能作業療法学	2後	1		1						
摂食・嚥下作業療法	3後	1								兼1
感覚統合療法	3後	1		1						
認知症作業療法	3前	1			1					
リハビリテーション工学	2前	1		1						
作業療法特論	3後	1		4						
作業療法総合演習	4後	2		6	1	2	5			
地域作業療法学	3前	1		2	1					
地域作業療法学演習	3後	1			1		2			
生活環境論	2後	1		1						
ヘルスポモーション作業療法学	3前	1		1						
職業リハビリテーション	2後	1		1						
基礎臨床実習	1通	1		6	1	2	5			
地域臨床実習	2通	1		6	1	2	5			
評価臨床実習	3後	3		6	1	2	5			
総合臨床実習Ⅰ	3後	6		6	1	2	5			
総合臨床実習Ⅱ	4前	6		6	1	2	5			
総合臨床実習Ⅲ	4前	6		6	1	2	5			

臨床心理学概論	2前	1								兼1
リハビリテーション医学	1後	1								兼1
医療危機管理論	3前	1								兼1
医学概論	1前	1		1						兼2
栄養学	1後	1								兼1
薬理学	1後	1								
医用画像診断学	3前	1								兼1
リハビリテーション概論	1前	1		1						
ケアマネジメント論	3前	1								兼1
カウンセリング論	1前	1								兼1
保健医療福祉制度論	1前	2								兼1
専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1		1		1		1		兼7
専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1		3		1		3	1	兼14
専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における専攻)	3前	1		4	1	1	2	4	1	兼28
専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における臨床)	4後	1		5	1	2		5	1	兼28
小計(39科目)	-	35	5	0	8	0	3	2	0	兼53
作業療法学概論	1前	2		1						
作業科学	1後	2		1						
作業療法理論	2前	1		1						
作業療法研究法	2後	1		3						
作業療法管理学	3後	2		1						
作業療法評価学	2前	2		1						
身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系)	2前	2				1	2			
身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系)	2後	1		1		1			1	
精神機能評価学演習	2前	1			1	1			1	1
発達期評価学演習	2後	1		1		1			1	
作業療法臨床推論	2後	2		1					1	
生活行為向上マネジメント	2後	1			1					
作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析)	1前	1							4	
作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析)	1後	1			1	3			1	3
日常生活支援学	2前	1		1					1	
日常生活支援学演習	2後	1		1		1			1	
機能代償学	3前	1		1						
身体機能作業療法学	3前	1			1				1	
身体機能作業療法学演習	3後	1			1	1			1	1
精神機能作業療法学	3前	1		2					2	
精神機能作業療法学演習	3後	1		2	1				2	1
発達期作業療法学	3前	1		1			1		1	
発達期作業療法学演習	3後	1		1		1			1	1
高齢期作業療法学	3前	1			1				1	
高齢期作業療法学演習	3後	1			1	1	1		1	1
高次脳機能作業療法学	2後	1		1					1	
摂食・嚥下作業療法	3後	1							1	
感覚統合療法	3後	1		1					1	
認知症作業療法	3前	1			1				1	
リハビリテーション工学	2前	1		1					1	
作業療法特論	3後	1		4					4	
作業療法総合演習	4後	2		6	1	2	5		6	1
地域作業療法学	3前	1		2	1				2	1
地域作業療法学演習	3後	1			1				1	2
生活環境論	2後	1		1					1	
ヘルスポモーション作業療法学	3前	1		1					1	
職業リハビリテーション	2後	1		1					1	
基礎臨床実習	1通	1		6	1	2	5		6	1
地域臨床実習	2通	1		6	1	2	5		6	1
評価臨床実習	3後	3		6	1	2	5		6	1
総合臨床実習Ⅰ	3後	6		6	1	2	5		6	1
総合臨床実習Ⅱ	4前	6		6	1	2	5		6	1
総合臨床実習Ⅲ	4前	6		6	1	2	5		6	1

卒業研究	2後	1			7	1	2	1		
卒業研究演習	4後	2			7	1	2	5		
小計(45科目)	-	65	5	0	7	1	2	5		兼1
合計(113科目)	-	116	23	0	8	1	2	5	0	兼76
卒業要件及び履修方法										
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野必修35単位、専門分野必修65単位に加え、専門基礎分野及び専門分野の合計で106単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。										

卒業研究	2後	1			7	1	2	1		
卒業研究演習	4後	2			7	1	2	5		
小計(45科目)	-	65	5	0	7	1	2	5		兼1
合計(113科目)	-	116	23	0	8	1	2	5	0	兼74
卒業要件及び履修方法										
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野必修35単位、専門分野必修65単位に加え、専門基礎分野及び専門分野の合計で106単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

**【令和4年度】**

医学概論について、専任教員辞退に伴い教授0、兼1に変更。

- (注) ・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
90 科目	23 科目	0 科目	113 科目	90 科目 [ 0 ]	23 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	113 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{113} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	11,007.03 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,007.03 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	653.38 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	653.38 m <sup>2</sup>		
	小 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		
	合 計	11,660.41 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,660.41 m <sup>2</sup>		
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	19,580.89 m <sup>2</sup> ( 19,580.89 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	37室	41室	3室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体	
	看護学部						
	リハビリテーション学部		59 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
	大学全体	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
		計	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	884.72 m <sup>2</sup>		172 席		35,000 冊		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	1,330.18 m <sup>2</sup>		—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	26,485千円	4,938千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	369,948千円	19,303千円	19,402千円
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次
	1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,450千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	令和健康科学大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学部											
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.22	1.22	-	令和4	福岡県福岡市東区和白2丁目1番12号	
リハビリテーション学部											
理学療法学科	4	80	0	320	学士(理学療法学)	0.95	0.95	-	令和4	同上	
作業療法学科	4	60	0	240	学士(作業療法学)	0.51	0.51	-	令和4	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション学部 作業療法学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学科長)	近藤 敏 (72) <令和4年4月> 博士(保健学)	フレッシュヤーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 作業療法学概論 作業療法管理学 作業療法特論※ 作業療法総合演習 ヘルスプロモーション作業療法 学 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習	専	教授 (学科長)	近藤 敏 (72)高 <令和4年4月> 博士(保健学)	フレッシュヤーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 作業療法学概論 作業療法管理学 作業療法特論※ 作業療法総合演習 ヘルスプロモーション作業療法 学 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
専	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士	医学概論※ 解剖学実習※	専	教授	富永 隆治 <令和4年4月> 医学博士	医学概論※ 解剖学実習※
専	教授	川原田 淳 (65) <令和6年4月> 博士(工学)	作業療法研究法※ リハビリテーション工学 生活環境論 卒業研究 卒業研究演習 生理学実習	専	教授	川原田 淳 (65)高 <令和6年4月> 博士(工学)	作業療法研究法※ リハビリテーション工学 生活環境論 卒業研究 卒業研究演習 生理学実習
兼任	講師	川原田 淳 (63) <令和4年4月> 博士(工学)	作業療法研究法※ リハビリテーション工学 生活環境論 卒業研究 生理学実習	兼任	講師	川原田 淳 64 <令和4年4月> 博士(工学)	作業療法研究法※ リハビリテーション工学 生活環境論 卒業研究 生理学実習
専	教授	中山 広宣 (71) <令和4年4月> 博士(医学)	リハビリテーション概論 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 作業療法総合演習 職業リハビリテーション 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習	専	教授	中山 広宣 (71)高 <令和4年4月> 博士(医学)	リハビリテーション概論 専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 作業療法総合演習 職業リハビリテーション 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	奈良 進弘 (67) <令和4年4月> 修士(教育学)	専	教授	奈良 進弘 (67)高 <令和4年4月> 修士(教育学)
		作業療法研究法※ 作業療法評価学 作業療法臨床推論 機能代償学 作業療法特論※ 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			作業療法研究法※ 作業療法評価学 作業療法臨床推論 機能代償学 作業療法特論※ 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
専	教授	田中 悟郎 (65) <令和6年4月> 博士(医学)	専	教授	田中 悟郎 65(高) <令和6年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業療法研究法※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 作業療法特論※ 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業療法研究法※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 作業療法特論※ 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
兼任	講師	田中 悟郎 (63) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	田中 悟郎 (63) <令和4年4月> 博士(医学)
		作業療法研究法※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 卒業研究			作業療法研究法※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 卒業研究
専	教授	小西 紀一 (74) <令和4年4月> Master of Science(米国)	専	教授	小西 紀一 (74)高 <令和4年4月> Master of Science(米国)
		人間発達学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業療法理論 発達期評価学演習 発達期作業療法学 発達期作業療法学演習 感覚統合療法 作業療法特論※ 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			人間発達学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業療法理論 発達期評価学演習 発達期作業療法学 発達期作業療法学演習 感覚統合療法 作業療法特論※ 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)	専	教授	山根 伸吾 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業科学 身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系) 日常生活支援学 日常生活支援学演習 高次脳機能作業療法学 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 作業科学 身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系) 日常生活支援学 日常生活支援学演習 高次脳機能作業療法学 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
兼任	講師	山根 伸吾 (47) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	山根 伸吾 (47) <令和4年4月> 博士(保健学)
		作業科学 基礎臨床実習			作業科学 基礎臨床実習
専	准教授	谷川 良博 (53) <令和4年4月> 修士(人間関係学)	専	准教授	谷川 良博 <令和4年4月> 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 生活行為向上マネジメント 高齢期作業療法学 高齢期作業療法学演習 認知症作業療法 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 生活行為向上マネジメント 高齢期作業療法学 高齢期作業療法学演習 認知症作業療法 作業療法総合演習 地域作業療法学※ 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
専	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	近藤 昭彦 (44) <令和4年4月> 博士(医学)
		運動学Ⅰ(頭頸部・上肢) 運動学Ⅱ(体幹・下肢) 運動生理学 運動学実習 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 身体機能作業療法学 身体機能作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			運動学Ⅰ(頭頸部・上肢) 運動学Ⅱ(体幹・下肢) 運動生理学 運動学実習 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 身体機能作業療法学 身体機能作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 博士(保健科学)	専	講師	江口 喜久雄 (39) <令和4年4月> 博士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神機能評価学演習 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 精神機能作業療法学演習※ 高齢期作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習 生理学実習			専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神機能評価学演習 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 精神機能作業療法学演習※ 高齢期作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習 生理学実習
専	助教	角田 孝行 (44) <令和4年4月> 修士(保健福祉学)	専	助教	角田 孝行 <令和4年4月> 修士(保健福祉学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 発達期評価学演習 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 発達期作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 発達期評価学演習 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 発達期作業療法学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究 卒業研究演習
専	助教	川崎 一平 (36) <令和6年4月> 修士(国際協力学)	専	助教	川崎 一平 (36) <令和6年4月> 修士(国際協力学)
		作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 身体機能作業療法学演習 作業療法総合演習 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習			作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 身体機能作業療法学演習 作業療法総合演習 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習
兼任	講師	川崎 一平 (34) <令和4年4月> 修士(国際協力学)	兼任	講師	川崎 一平 (34) <令和4年4月> 修士(国際協力学)
		作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 地域臨床実習			作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 地域臨床実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	永井 邦明 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(保健科学)	専	助教	永井 邦明 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(保健科学)
		身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系) 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 日常生活支援学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習 運動学実習			身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 身体機能評価学演習Ⅱ(中枢神経系) 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 日常生活支援学演習 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習 運動学実習
兼任	講師	永井 邦明 (32) ＜令和4年4月＞ 修士(保健科学)	兼任	講師	永井 邦明 (32) ＜令和4年4月＞ 修士(保健科学)
		作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 基礎臨床実習			作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 基礎臨床実習
専	助教	吉田 和弘 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(保健医療学)	専	助教	吉田 和弘 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(保健医療学)
		運動学実習 身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習			運動学実習 身体機能評価学演習Ⅰ(筋・骨格系) 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 作業療法総合演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習
専	助教	太田 研吾 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(心理学)	専	助教	太田 研吾 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 精神機能評価学演習 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 高齢期作業療法学演習 作業療法総合演習 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 精神機能評価学演習 作業学実習Ⅰ(手工芸等・作業分析) 作業学実習Ⅱ(レクリエーション・作業分析) 高齢期作業療法学演習 作業療法総合演習 地域作業療法学演習 基礎臨床実習 地域臨床実習 評価臨床実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 総合臨床実習Ⅲ 卒業研究演習
兼任	教授	野地 有子 (65) ＜令和4年4月＞ 保健学博士	兼任	教授	野地 有子 (65)高 ＜令和4年4月＞ 保健学博士
		健康科学入門※			健康科学入門※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュアーズセミナー 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	辻 慶子 (66) <令和4年4月> 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	勝野 とわ子 (70) <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science(米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士(医療経営・管理学)※
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	白石 裕子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)
兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎)
兼任	教授	田中 裕二 (65) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮里 邦子 (74)高 <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシュアーズセミナー 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	辻 慶子 (66)高 <令和4年4月> 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	勝野 とわ子 (70)高 <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Nursing Science(米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	竹元 仁美 (62) <令和4年4月> 修士(医療経営・管理学)※
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	白石 裕子 (65)高 <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)
兼任	講師	白石 裕子 (64) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎)
兼任	教授	田中 裕二 (65)高 <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学実習 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	教授	増山 純二 (49) <令和4年4月> 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	西村 泰治 (70)高 <令和4年4月> 医学博士
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※			フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※
兼任	教授	山田 達夫 (73) <令和4年4月> 医学博士			
		神経内科学Ⅰ(総論) 神経内科学Ⅱ(各論) 医学概論※			
					AC教員審査予定教員
					神経内科学Ⅰ(総論) 神経内科学Ⅱ(各論)
			兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
					医学概論※
兼任	教授	関矢 仁 (61) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	関矢 仁 (61) <令和4年4月> 医学博士
		整形外科Ⅰ(総論) 整形外科Ⅱ(各論)			整形外科Ⅰ(総論) 整形外科Ⅱ(各論)
兼任	教授	郡山 一明 (63) <令和4年4月> 博士(医学)			
		救急救命医学 医療危機管理論 医学概論※			
					AC教員審査予定教員
					救急救命医学 医療危機管理論
			兼任	教授	富永 隆治 (72) <令和4年4月> 医学博士
					医学概論※
兼任	教授	松原 孝俊 (73) <令和4年4月> 文学修士※	兼任	教授	松原 孝俊 (73)高 <令和4年4月> 文学修士※
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)			アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)
兼任	教授	溝田 勝彦 (70) <令和4年4月> 修士(経営学)	兼任	教授	溝田 勝彦 (70)高 <令和4年4月> 修士(経営学)
		健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)			健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	永崎 孝之 (59) <令和4年4月> 博士(工学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	古後 晴基 (56) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	古後 晴基 <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)	兼任	玉利 誠 (46) <令和4年4月> 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	弓岡 光徳 (68) <令和4年4月> 博士(社会福祉学)		
		フレッシュャーズセミナー 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)		
			兼任	西村 泰治 (70) <令和4年4月> 医学博士
				フレッシュャーズセミナー
				AC教員審査予定教員
				専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)※	兼任	田中 真一 (50) <令和4年4月> 修士(医科学)※
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	准教授	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)	兼任	阿波 邦彦 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿波 邦彦 (40) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
兼任	准教授	<b>AC教員審査予定教員</b>
		<b>専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)</b>
兼任	准教授	児玉 裕美 (45) <令和4年4月> 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	開田 ひとみ (66)高 <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	苑田 裕樹 (46) <令和4年4月> 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	八谷 瑞紀 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	兼任	准教授	八谷 瑞紀 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	松井 聡子 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	兼任	講師	松井 聡子 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	大村 由紀美 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	兼任	講師	大村 由紀美 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	岩倉 真由美 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営管理学)	兼任	講師	岩倉 真由美 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営管理学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	松本 宗賢 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	兼任	講師	松本 宗賢 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅱ(専門職連携 の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	中本 亮 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	兼任	講師	中本 亮 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	齊藤 貴文 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(人間環境学)	兼任	講師	齊藤 貴文 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(人間環境学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)	兼任	講師	吉澤 隆志 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)	兼任	講師	岡 真一郎 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)			専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	松本 典久 (58) <令和5年4月> 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	松本 典久 (57) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (45) <令和6年4月> 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 臨床心理学概論 カウンセリング論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北村 匡大 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	猪狩 明日香 (46) <令和4年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	松本 典久 <令和5年4月> 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	松本 典久 <令和4年4月> 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携 の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (45) <令和6年4月> 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) <令和5年4月> 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働)
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) <令和4年4月> 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 臨床心理学概論 カウンセリング論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(人文科学)	兼任	講師	宮崎 聖子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学			ジェンダー論 文化人類学
兼任	講師	岡 克彦 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)	兼任	講師	岡 克彦 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		法学			法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)	兼任	講師	加藤 佳奈 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学			経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)	兼任	講師	山下 亜希子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		社会学			社会学
兼任	講師	倉田 剛 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(哲学)	兼任	講師	倉田 剛 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法			倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)	兼任	講師	吉原 克枝 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論			人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)	兼任	講師	山根 健至 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)
		国際関係論			国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) ＜令和4年4月＞ 文学修士	兼任	講師	宮井 善朗 (59) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		福岡の歴史と文化※			福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) ＜令和4年4月＞ 工学博士	兼任	講師	藤村 直美 (71) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		医療と情報リテラシー			医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)	兼任	講師	山下 貴範 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		統計学			統計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)	兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物学			生物学
兼任	講師	黒木 昌一 (61) <令和4年4月> 博士(物理学)	兼任	講師	黒木 昌一 (61) <令和4年4月> 博士(物理学)
		物理学			物理学
兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)			英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)	兼任	講師	李 延恩 (56) <令和5年4月> 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話)			韓国語Ⅰ(日常会話)
兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士※	兼任	講師	石川 泰成 (60) <令和5年4月> 文学修士※
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)			中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	東 華岳 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖学Ⅰ(筋骨格系・神経系) 解剖学Ⅱ(呼吸器系・循環器系) 解剖学実習※			解剖学Ⅰ(筋骨格系・神経系) 解剖学Ⅱ(呼吸器系・循環器系) 解剖学実習※
兼任	講師	松崎 正晃 (36) <令和4年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	松崎 正晃 (36) <令和4年4月> 修士(心理学)
		解剖学実習※			解剖学実習※
兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	中川 和憲 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		生理学Ⅰ(動物性機能) 生理学Ⅱ(植物性機能) 病理学			生理学Ⅰ(動物性機能) 生理学Ⅱ(植物性機能) 病理学
兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	赤司 浩一 (63) <令和5年4月> 医学博士
		内科学Ⅰ(総論)			内科学Ⅰ(総論)



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	北園 孝成 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士	兼任	講師	北園 孝成 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		内科学Ⅱ (各論)			内科学Ⅱ (各論)
兼任	講師	堀 輝 (44) ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	堀 輝 (44) ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)
		精神医学Ⅰ (総論) 精神医学Ⅱ (各論)			精神医学Ⅰ (総論) 精神医学Ⅱ (各論)
兼任	講師	大賀 正一 (63) ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	大賀 正一 (63) ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)
		小児科学			小児科学
兼任	講師	大中 佳三 (60) ＜令和5年4月＞ 医学博士	兼任	講師	大中 佳三 (60) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		老年学			老年学
兼任	講師	二宮 利治 (53) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	二宮 利治 (53) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		公衆衛生学			公衆衛生学
兼任	講師	稲川 利光 (67) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	稲川 利光 (67) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		リハビリテーション医学			リハビリテーション医学
兼任	講師	中村 強 (66) ＜令和4年4月＞ 博士 (農学)	兼任	講師	中村 強 (66) ＜令和4年4月＞ 博士 (農学)
		栄養学			栄養学
兼任	講師	豊平 由美子 (65) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	豊平 由美子 (65) ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		薬理学			薬理学
兼任	講師	石神 康生 (52) ＜令和6年4月＞ 博士 (医学)	兼任	講師	石神 康生 (52) ＜令和6年4月＞ 博士 (医学)
		医用画像診断学			医用画像診断学
兼任	講師	西崎 緑 (65) ＜令和6年4月＞ 博士 (社会福祉学)	兼任	講師	西崎 緑 (65) ＜令和6年4月＞ 博士 (社会福祉学)
		ケアマネジメント論			ケアマネジメント論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	西 貴倫 (42) <令和4年4月> 博士(政治学)	兼任	講師	西 貴倫 (42) <令和4年4月> 博士(政治学)
		保健医療福祉制度論			保健医療福祉制度論
兼任	講師	東嶋 美佐子 (68) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	東嶋 美佐子 (68) <令和6年4月> 博士(医学)
		摂食・嚥下作業療法			摂食・嚥下作業療法

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認し
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

山田達夫教授（兼任）の担当が難しくなったため、山口浩雄特任教授（兼任）に変更。（令和4年AC教員審査予定）  
山田達夫教授（兼任）の担当が難しくなったため、富永隆治教授（兼任）に変更。令和3年8月教員審査済み。  
郡山一明教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年10月から兼任教員採用予定で公募中。  
郡山一明教授（兼任）の担当が難しくなったため、富永隆治教授（兼任）に変更。  
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、西村泰治教授（兼任）に変更。  
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年4月から兼任教員採用予定。  
阿波邦彦講師（兼任）の担当が難しくなったため、大田瑞穂（兼任）に変更。（助教にて令和4年AC教員審査予定）

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	1	2	5	16	0	5	1	2	3	11	0
(5)	(1)	(2)	(3)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	1	2	5	16	0	8	1	2	5	16	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員 うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	5 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{5}{11} = \boxed{45.45} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{16} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和3年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項 設置の趣旨・目的等が生かされ、設置計画が確実に履行されるよう運営組織を組織し、月に1回会議を行い点検改善を行っている。4年制大学にふさわしい教育研究活動が行われるよう、学長は教授会をはじめ各種委員会を通じで教育目標、カリキュラムへの適切な取り組みを図っている。	履行中
認 可 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 高度専門職業人を養成することを養成する人材像としており、高い教育水準を有する教員を配置したため初年度は4名、完成年度は9名の教員が定年規程の退職年齢を超えることとなる。これらの教員は定年の特例に関する規程の適用を受け、高い教育研究の水準を維持しつつ教員年齢構成に配慮し、中長期的に視野に立った人事計画のもと教員組織を整備することとしている。	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <リハビリテーション学部 作業療法学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期） 選抜方法とし、学力試験および面接試験により判定を行う。</p>	<p>① 入学者選抜方法</p> <p>一般選抜（前期・後期Ⅰ期・Ⅱ期） 選抜方法とし、学力試験により判定を行う。</p> <p>令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインに従い、受験機会の確保に努めるべく、後期Ⅱ期試験を設定し追試験に対応出来るようにした。 また、新型コロナウイルス感染症罹患患者増加に伴い、当初予定していた面接試験を取りやめ、感染拡大のリスク低減とし、調査書および学力試験により判定を行った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>各学科の教授、准教授および講師のうちから学部長の推薦に基づき学長が指名した者で構成された、令和健康科学大学FD・SD委員会を設置し、取り組むこととしている。実際の教育運営を司る教務委員会と連携し、高度専門職業人を養成するよう、設置の趣旨・目的を踏まえ教育水準の向上に取り組む予定である。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2022年6月より開始予定。毎月第2水曜日実施予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動の啓発に関すること。</li> <li>・ 授業方法についての研究会</li> <li>・ 授業公開の企画・運営に関すること。</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 学生及び職員相互による授業評価に関すること。</li> <li>・ 各学部・各学科が行うFD活動の支援に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る施設・設備等の改善に関すること。</li> <li>・ FD活動に係る講演会及び研究等に関すること。</li> <li>・ その他FD活動の推進に必要な事項に関すること。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>未実施</p> <p>b 実施方法</p> <p>未実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>未実施</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
未実施
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期  
すべての講義において各講義の最終講義日（前期：8月、後期：1月）にWEBによる授業評価アンケートの実施を
  - b 教員や学生への公開状況、方法等  
FD・SD委員会はアンケート結果を学長に報告を行い、学長はアンケート結果のフィードバックを授業担当教員に行い授業改善に役立ててもらう。学生にはアンケート結果を取り纏めポータルサイトに掲載を行い、履修登録の参考資料としてもらう。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
  - a 委員会の設置状況  
該当なし
  - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）  
該当なし
  - c 委員会の審議事項等  
該当なし
  - d その他  
該当なし
- ② 審議状況  
該当なし
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況  
該当なし
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況  
該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人巨樹の会は「全ての人に対して、24時間・365日、患者のための医療を行う」という創設者の信念に鑑み、「手には技術、頭には知識、患者には愛を」を建学の精神としている。「手には技術」とは「技の修得」を意味し、高度医療の提供と先進医療の導入を図りつつ、安全性・安楽性・信頼性に長け、卓越した技術・技能を修得し、プロフェッショナルとして誇りと責任をもった人を養成するための考えである。「頭には知識」とは「知の探究」を意味する。医療の進歩発展の土台となる探究的思考を身につけ、地域医療の質向上と共に各専門領域の深化を進めるための基礎となる探究心である。「患者には愛を」とは「心の涵養」を意味する。豊かな人間性を有し、経験を深める洞察力と内省力を磨き、職業倫理をもって全ての患者に寄り添い、優しく接することができる「全人的医療」を提供できる人を養成することを目的に設置した。

この目的を達成すべく開学後4月より医療従事者としての素養を身に着けた医療人を養成すべく、基幹分野科目である「コミュニケーション論」「医療と情報リテラシー」「論理的思考法」では対象者を全人的に深く理解し、素直に受け入れ、相互に良好な関係を築くことができる能力を学修している。専門基礎分野科目である「解剖学Ⅰ」「解剖学Ⅱ」では今後の医療人としての根幹である人体に対する理解が深まるように基礎知識を学修している。専門分野科目である「理学療法概論」「作業科学」では作業療法学全体の基本的な知識を学修し、科学的根拠に基づいた実践を支える知識体系、健康の保持・増進・QOLを支えるケアについて知識の修得を行っている。

設置の趣旨・目的を達成するため、幅広い教養、職業倫理、保健医療に関する基礎知識の修得が進んでいるものと考えている。

上記の理念等を踏まえ6年ごとの中期計画を策定しており、中期計画を達成するため毎年度の事業計画を作成している。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

記入例)

- ・令和9年6月1日 公表

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和9年6月1日を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。